

I-1 新幹線開業対策 福井駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・県都デザイン戦略の第2期プロジェクトの具体化と実行(福井城址公園の整備、都市インフラのリニューアルなど)
- ・中世歴史遺産(一乗谷朝倉氏遺跡、永平寺門前)の魅力向上の加速化
- ・福井駅と周辺の拠点をつ結ぶ二次交通の強化

福井駅周辺の整備 (P3~4)

福井駅周辺の整備や公共交通の利便性を向上

- ・福井駅西口・東口広場の整備
- ・福井市観光交流センターの整備
- ・自転車駐車場やシェアサイクルなど自転車利用環境の整備
- ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ
- ・えちぜん鉄道の高架化
- ・福井鉄道福武線福井駅前線の延伸
- ・福井駅周辺での再開発(民間) など

県都デザイン戦略の実行 (P5~6)

福井城址を核に、歴史を活かした県都のまちづくりを実行

- ・山里口御門の復元
- ・中央公園の再整備
- ・グリフィス記念館の整備
- ・由利公正広場の整備
- ・足羽山ビジターセンターの整備 など

越前海岸の周遊観光ルート化 (P13)

越前海岸ラインを新しい観光ルートとしてネットワーク化

- ・北前船主館群の景観整備
- ・金ヶ崎周辺の整備
- ・里山里海湖の景観保全 など

広域道路等の整備促進

- ・国道8号 福井・石川県境部(牛ノ谷道路、金津道路 福井バイパス)
- ・福井港丸岡インター連絡道路
- ・国道364号 永平寺インター道路
- ・町道(仮称)永平寺インター線
- ・国道158号バイパス
- ・県道福井森田丸岡線
- ・道の駅「禅の里」など

松岡地区のまちづくり (P11)

松岡古墳群や松岡藩など歴史を活かしたまちづくり

- ・魅力発信交流施設えい坊館の整備
- ・レンタサイクルの整備 など

新しいライフスタイルに対応した拠点整備 (P12)

- ・テレワークスペース、コワーキングスペース
- ・旧傘松閣を利用した企業研修やイベント開催 など

一乗谷朝倉氏遺跡のレベルアップ (P7~8)

日本最大の戦国城下町跡として、「一乗谷ミュージアム」化を推進

- ・一乗谷朝倉氏遺跡博物館の整備
- ・山城部の環境整備や露出展示の実施
- ・展望所の整備や無電柱化の拡大
- ・中世都市遺跡研究の拠点化 など

永平寺周辺の環境整備 (P9~10)

本物の禅の心にもふれる体験観光の充実やまちなみの整備

- ・宿泊施設や観光案内所の整備
- ・旧参道や永平寺川の景観形成



○主な関連事業の年次計画

※ 黄色矢印は、新幹線開業後も継続

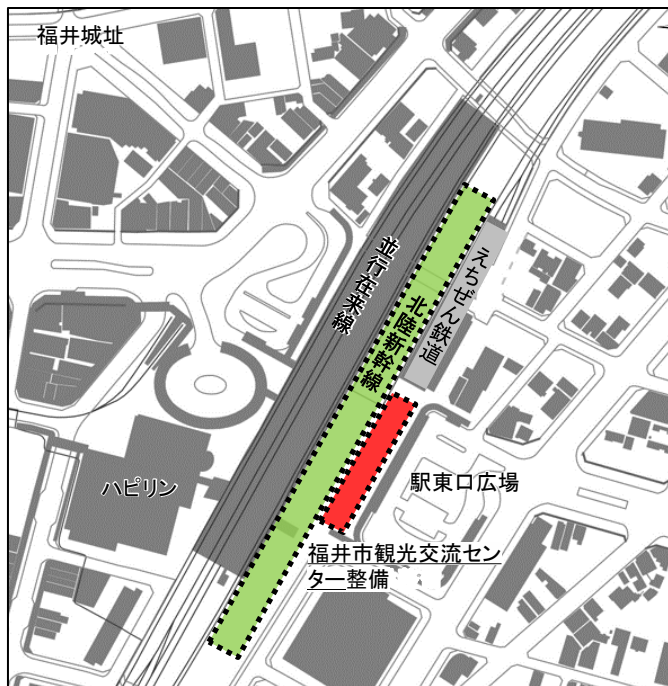
	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020(R2) (置県140 年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023(R5) (福井・敦賀開 業)	2024 (R6)	2025 (R7)	
福井駅	鉄道・運輸機構 約90億円	駅舎デザイン コンセプト提案(市)	駅舎基本設計	駅舎実施設計	駅舎整備				試験運転 等			
	福井市 約16億円	福井市観光交流センターの整備										
	県 約119億円	えちぜん鉄道の高架化										
	福井市 民間	駅東口広場等の整備			シェアサイクルの 整備・拡充							
県・福井市・民間	福井駅西口市街地再開発、市内循環路線の調査											
						県都グランドデザイン策定		県都グランドデザインの推進				
県都デザイン	県 約3億円	山里口御門の復元										
	県 福井市 約9億円	福井城址活用方策の検討・とりまとめ、福井城址の利活用										
	福井市	中央公園整備、市道県庁線等の整備				足羽山公園の整備						
朝倉氏乗 遺跡谷	県・福井市	一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)の整備										
	県	特別名勝庭園の再生等、再整備計画の推進による遺跡全体の魅力向上										
	県	奈良文化財研究所との連携研究を通じた中世都市遺跡研究の拠点化										
永平寺	民間 約13億円	宿泊施設「柏樹關」の整備										
	県・永平寺町 約8億円	旧参道の整備、永平寺川の修景										
	永平寺町・民間 約2.5億円	自動走行システムの導入						自動運転移動サービスの実用化				
	県 約1億円	国道364号永平寺インター 道路の整備			町道(仮称)永平寺インター線の整備							
	永平寺町 永平寺町	四季の森複合施設の整備										
広域	県・国	広域道路の整備促進										

1-1 (1) 福井駅および駅周辺のまちづくり

主体	県・福井市・民間	場所	福井市
事業費	約556億円～	期間	～2023

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・駅西口広場、再開発ビルの整備(市、2015) ・自然史博物館分館(ドームシアター等)の整備(市、2015) ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ(民間、2015～) ・福井鉄道福武線福井駅前線の延伸(民間、2015) ・新幹線駅舎実施設計の完了(機構、2018) ・福井鉄道「福井城址大名町」電停の改良(民間、2017) ・駅東口広場等の整備(市、～2018) ・えちぜん鉄道の高架化(県、～2018) ・経済界が主体となり、県・市が参画する形で「県都にぎわい創生協議会」の設立(県、市、民間、2020) ・県都の将来像を描いた県都グランドデザインの策定(県、市、民間、～2022) ・JR福井駅および福井駅西口再開発ビル自転車駐車場のリニューアル ・新幹線駅舎の整備(機構、～2022) ・福井市観光交流センター(休憩・展示スペース等)の整備(市、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所の整備(市、～2023) ・魅力的なまちづくりに資する施設の改修支援や出店に対する相談対応等(県・市、2015～) ・福井駅周辺および新幹線福井駅東口拡張施設でのシェアサイクル整備(市、～2023) ・福井駅南側自転車駐車場の整備(市、～2023) ・中央大通り等、道路施設リニューアル(県、～2023) 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間・行政による新幹線高架下の有効活用 ・公共施設の再配置等による市中心部への都市機能の再集約 ・福井駅南側自転車駐車場の整備(市) ・足羽川周辺のにぎわい創出や浜町～愛宕坂～足羽山の磨きあげ、多目的アリーナ整備など、県都グランドデザインの推進 ・福井駅西口の再開発

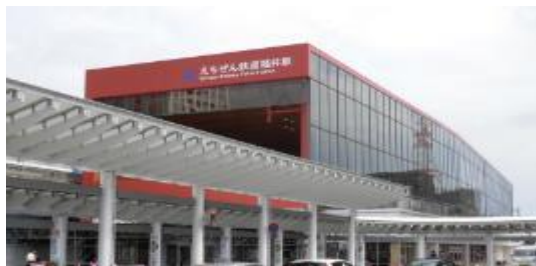
駅西口広場や西口再開発ビル整備、えちぜん鉄道の高架化など、新幹線開業に向けて福井駅周辺を整備します。



出所：福井県作成、福井市提供



北陸新幹線福井駅舎・福井市観光交流センター



えちぜん鉄道福井駅

新幹線駅舎デザインコンセプト 「悠久の歴史を未来へつなぐシンボルゲートとなる駅」

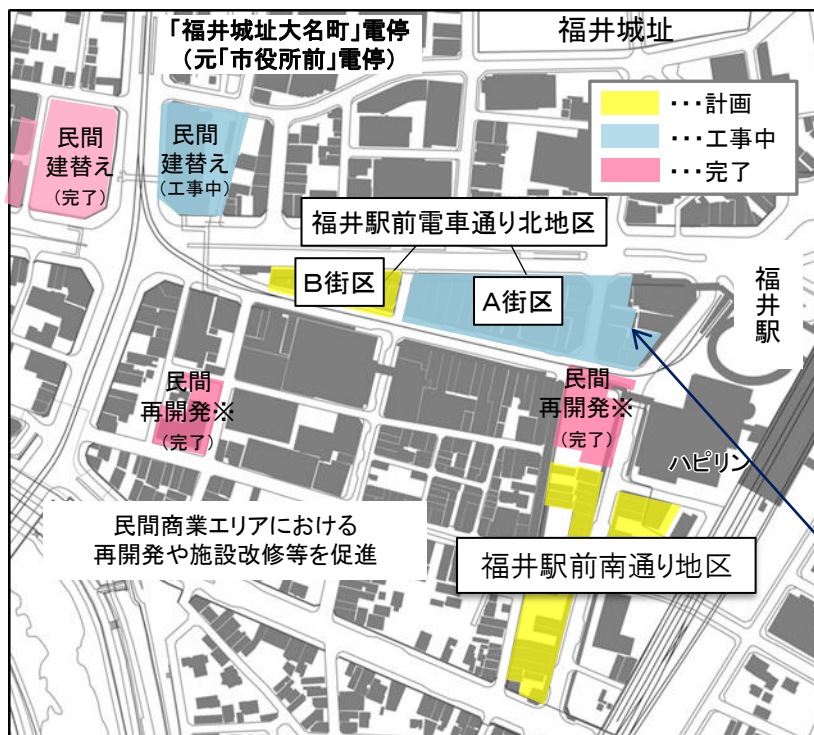
- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・県都グランドデザインに基づく福井駅周辺のまちづくり(県都グランドデザイン推進事業 18,336千円)
 - ・中央大通りのリニューアル(交通安全施設等整備事業 800,000千円)
- 2023年度実施事業【福井市】
 - ・福井市観光交流センターにおける観光案内所の整備運営(東口観光案内所準備事業 32,000千円)
 - ・景観形成等への支援(景観まちづくり事業 6,062千円)
 - ・駅前電車通り北側歩道の整備(まちなか回遊事業60,605千円の内数)

福井駅および駅周辺のまちづくり〔西口再開発〕

主体	民間	場所	福井市
事業費	未定	期間	～2023

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 中央1丁目18番地区(ホテル)の再開発(民間、～2018) 福井銀行本店ビルの建替え(民間、～2020) 中央1丁目10番地地区(スーパー跡地)の再開発(民間、～2021) 	<ul style="list-style-type: none"> 織協ビルの建替え(民間～2023) 福井駅西口周辺での恐竜コンテンツ整備(県、2022～) 	<ul style="list-style-type: none"> 福井駅前電車通り北地区A街区・B街区の再開発(民間) 福井駅前南通り地区の再開発(民間) 県都まちなか再生ファンドによるリノベーション等支援(官民連携、2022～2026)

福井駅西口市街地において民間による大規模再開発と小規模なリノベーションを一体的に進めることで、県都の玄関口としてふさわしい空間や中心市街地のにぎわいを創出し、来街者や居住人口の増加や、まちなかの回遊性を高めます。



- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・福井市が支援する民間市街地再開発事業を支援(福井駅西口市街地再開発支援事業 1,433,349千円)
 - ・リノベーションの手法を活用した商業施設や個店の整備、商店街のミニ再開発を支援(官民連携による「県都まちなか再生ファンド」活用事業 290,000千円)
 - ・福井駅西口周辺での恐竜コンテンツ整備(恐竜エリア拡大プロジェクト 507,542千円※2022年2月補正前倒し分含む)
- 2023年度実施事業【福井市】
 - ・市街地再開発事業等の支援(市街地再開発事業等支援事業 6,401,639千円)
 - ・駅前電車通り北側歩道の整備〔P3再掲〕
 - ・景観形成等への支援〔P3再掲〕

事業名	福井駅前電車通り北地区A街区第一種市街地再開発事業
用途	商業、業務、ホール、住宅、ホテル、駐車場等
階数	ホテル棟：地上28階／住宅棟：地上28階
開業	2024年春(予定)



北地区A街区写真 (R5.2.21 ハピリン屋上より撮影)

出所：福井県作成、福井市提供 ※優良建築物等整備事業 (区域は概ねの位置を示したもの)

県都デザイン戦略〔まちなか観光の推進〕

主体	県・福井市	場所	福井市
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・由利公正広場の整備(県、2013) ・グリフィス記念館の整備(市、2015) ・足羽山魅力向上計画の策定(市、2016) ・足羽山ビジターセンター、足羽山公園遊園地「ハピジャン」の整備(市、2018) ・ハピテラス、中央公園へのプロジェクションマッピングの整備(民間、2020) 	<ul style="list-style-type: none"> ・足羽山公園(眺望スポット・駐車場・愛宕橋架け替え)の整備(市、2017～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・足羽山公園(園路)の整備(市、2017～) ・四季を通じた自然景観の形成など、足羽山の利活用 ・足羽川の賑わい創出・景観維持

幕末の偉人ゆかりの場所を回遊する散策ルートの魅力づくりを推進します。また、足羽川周辺の景観づくりやリノベーション等を通して、足羽川周辺に人やモノが集まり、賑わうエリアを創出します。



出所:「県都デザイン戦略」(福井県、福井市)、「足羽山・足羽川周辺空間再形成基本構想」(福井市)

- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・足羽川の景観維持
((県単)河川維持修繕事業 160,000千円の内数)
((県単)河川局部改良事業 190,833千円の内数)
- 2023年度実施事業【福井市】
 - ・足羽山公園整備等(足羽山魅力向上事業 80,660千円)



福井市グリフィス記念館(浜町地区)



足羽山ビジターセンターの整備



足羽山公園遊園地「ハピジャン」の整備

1-1(3) 一乗谷ミュージアム化の推進

主体	県・福井市	場所	福井市
事業費	未定	期間	2014～

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・月見やぐら跡展望所の整備(県、2014) ・一乗谷・白山平泉寺の日本遺産認定(県・福井市・勝山市、2019) ・一乗谷朝倉氏遺跡博物館オープン(県、2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別名勝一乗谷朝倉氏庭園の再生(県、2016～) ・中世都市遺跡研究の拠点化(県、2016～) ・遺跡の受入環境整備(県・福井市・関係団体、2020～) 	

日本最大の戦国城下町である一乗谷朝倉氏遺跡において、中世都市遺跡の研究拠点や新たな博物館の整備、一乗谷朝倉氏庭園の再生等を進め、遺跡全体をレベルアップします。



博物館外観(昼景)



- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・国の研究機関と連携した遺跡保存技術の確立(一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立に向けた連携研究事業 24,059千円)
 - ・遺跡デジタル案内、遺跡内施設のキャッシュレス導入(一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業 8,000千円)

実施中の事業

(遺跡の整備)

復原町並の利活用促進

- ・施設の利用開放や実演展示の実施

遺跡の見える化の推進

- ・露出展示の推進(朝倉館跡)
- ・遺跡保存技術の確立に向けた奈良文化財研究所との連携研究

立体活用の推進

- ・山城部へのアクセスの整備

受入環境の推進

- ・遺跡内の無料Wi-Fiの整備

(周辺環境整備)

史跡と調和した自然景観の創造

出所:
福井県

一乗谷ミュージアム化の推進〔一乗谷朝倉氏遺跡博物館整備〕

主体	県	場所	福井市
事業費	未定	期間	2015～

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
・一乗谷朝倉氏遺跡博物館の整備(県、2022)		

遺跡観光のゲートウェイや中世都市遺跡の研究拠点となる一乗谷朝倉氏遺跡博物館を整備します。

<外観(夕景)>



外観イメージのコンセプト: 『夕景と追憶の「幻の館」』
 構造: 鉄筋コンクリート造(一部、鉄骨)、階層: 2階、床面積: 約5,200㎡

< 1階 >

- ・ガイダンスゾーンで、遺跡の歴史的意義、全体像や見どころなど、遺跡見学に必要な基礎情報をわかりやすく提供
- ・「石敷遺構展示室」を設置し、大規模な石敷遺構を当時の再現映像などとともに紹介

< 2階 >

- ・「城下町一乗谷の人々と暮らし」、「戦国大名朝倉氏の歴史」、「華麗なる朝倉文化」、「朝倉館の再現」の4つのゾーンに分けて展開
- ・シンボル展示として、一乗谷の栄華を物語る「朝倉館」の原寸再現、戦国城下町の町並みや人々の営みを再現した巨大ジオラマを整備

<3つの目玉展示>



当時の人々の暮らしを再現した巨大ジオラマ



戦国大名の価値観や教養、朝倉文化を直に体験できる空間として「朝倉館」を原寸再現



川湊「一乗の入江」の道路あるいは船着場・荷上場に使われたと考えられる遺構をそのまま露出展示

1-1 (4) 永平寺周辺の環境整備

主体	県・永平寺町・民間	場所	永平寺町
事業費	約24億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 道路舗装の高質化、商店街の外観統一(町、2011) 旧参道、観光案内所の整備(町、~2018) 永平寺川の護岸改修(県、~2018) 宿泊施設「柏樹關」の整備(民間、~2019) 禅の道(国道364号)の修景整備(県、~2018) 	<ul style="list-style-type: none"> 景観に配慮した門前まちづくり整備(民間、2022~) 	<ul style="list-style-type: none"> 門前地域による事業推進

国内外の知名度が高い永平寺において、外国人観光客に対応した宿泊施設整備を核として、旧参道の再生、永平寺川の修景などを一体的に行い、永平寺、永平寺町、県が協力して、禅(ZEN)を体感できる環境を整備します。



宿泊施設「柏樹關」

出所:「永平寺門前の再構築プロジェクト」(福井県ほか)

永平寺周辺の環境整備〔松岡地区のまちづくり〕

主体	永平寺町	場所	永平寺町
事業費	約2億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・えい坊館の整備(町、2016) ・多目的広場や散策路のサインの整備(町、2016) ・観光客回遊促進を目的としたレンタサイクルの整備(県・町・民間、2020) 	<ul style="list-style-type: none"> ・えい坊館を拠点に、地域の歴史文化を巡る散策ツアーや、町の魅力を体感できるイベント等の開催(町・民間、2017～) ・松岡公園遊具整備(町、2022～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の名所、松岡古墳群の登り口である松岡公園において、遊具等の整備を行うなどの機能向上

松岡藩当時の古町割や町家が残る松岡地区において、えい坊館を拠点に歴史文化や「禅」・九頭竜川の恵みの「食」「酒」を味わい・体感できるイベントやツアーを開催し、賑わいを創出します。



出所:「禅と食と酒の魅力味わいプロジェクト」(永平寺町)



旧織物会館の意匠を踏襲した魅力発信交流施設「えい坊館」の整備(2017年3月開館)

- ・地元物産品(ごま豆腐、地酒等)や地域ブランドSHOJINの販売
- ・演奏会や特産品販売会等、定期的なイベントの開催
- ・地域の食の提供
- ・地域の歴史・文化、生業等の紹介
- ・映像による観光情報発信



禅文化を体感する
プロジェクションマッピング
(常設・無料)
作品名「鳥道-黙坐」
制作者:チームラボ

永平寺周辺の環境整備 [新しいライフスタイルに対応した拠点整備]

主体	永平寺町	場所	永平寺町
事業費	約2億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> IT拠点と交流の拠点として「永平寺町四季の森複合施設」を整備(国・町、2021～) 県内テレワーク施設の定額制サービスへの加入(町・民間、2021～) ワーケーションモニターツアーの開催(国・民間・町、2021～)(周辺交流拠点) レンガ館、禅の里「笑来」のレンタサイクルなど周遊環境の整備(民間、2020) 	<ul style="list-style-type: none"> 企業研修の開催(町、2022～) 	<ul style="list-style-type: none"> ワーケーションの拠点としての活用

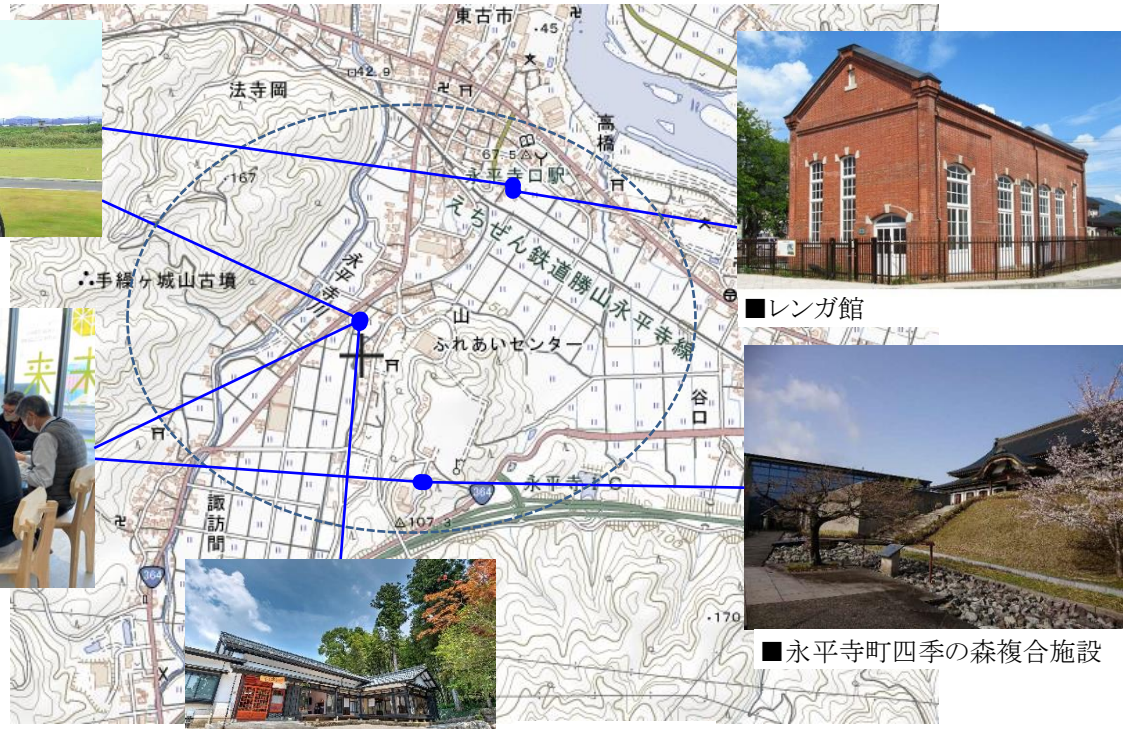
仕事と生活の新しい調和、IT人材や企業の誘致、新規起業者への支援を図るため、拠点となる「永平寺町四季の森複合施設」を整備。周遊環境も整備し、関係人口の拡大や交流による地域活性化につなげていきます。



■ レンタサイクル



■ ワーケーション



■ レンガ館



■ 永平寺町四季の森複合施設



■ 禅の里笑来

○ 2023年度実施事業【永平寺町】

- 四季の森複合施設の整備
- 交流拠点としての活用促進



テレワークスペース



コワーキングスペース



旧傘松閣



2階スペース

1-1 (5) 越前海岸の周遊観光ルート化

主体	県・市町	場所	全域
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の整備(市町) ・国民宿舎鷹巣荘のリニューアル(福井市、2014) ・観光案内所の整備(右近家離れ改修)(南越前町、2015) ・北前船主通りの景観整備(南越前町、～2016) ・北前船寄港地・船主集落の日本遺産認定(市町、2017) ・越前海岸や水仙畑を眺望できる視点場の整備(越前町、2019) ・「越前海岸の水仙畑」の重要文化的景観選定(市町、2020) ・鉄道遺産の日本遺産認定(市町、2020) ・道の駅「パークイン丹生ヶ丘」のリニューアル(越前町、2019～2021) ・重要文化的景観解説板の整備(越前町、2021～2022) ・重要文化的景観解説板の整備(南越前町、2021～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山里海湖等の広域景観の形成(県、2016～) ・三国湊の町家活用・修景支援(坂井市、2006～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・金ヶ崎周辺整備の調査検討(県・敦賀市、2022～) ・北前船主中村家住宅大規模改修(民間、2018～)

北前船寄港地の敦賀湊と三国湊には、独自の食文化や船筆笥などの手工業が育まれてきました。また、日本の棚田百選「梨子ヶ平地区」の千枚田や越前水仙群生地、呼鳥門をはじめとする景勝地、旧北陸線の隧道(トンネル)群、温泉など、越前海岸線は約80kmの間に多様な魅力を有します。こうした地域資産をネットワーク化し、越前海岸ラインを新しい観光ルートとして発信します。

北前船の歴史



みくに龍翔館のリニューアル



北前船主 中村家住宅
(2016年～ 特別公開)

「越前海岸の水仙畑」が重要文化的景観に選定



- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・北前船主中村家住宅大規模改修への支援(文化財保存修理等補助金交付事業 3,704千円)
 - ・重要文化的景観整備計画策定への支援(文化的景観保護推進事業 574千円)
- 2023年度実施事業【市町】
 - ・北前船主中村家住宅大規模改修への支援【南越前町】(中村家住宅保存・活用事業 21,860千円)
 - ・重要文化的景観整備計画策定【福井市】(文化的景観保護推進事業 672千円)

